

1

● 弘前・金木・小泊 [時期 / 4〜9月]
太宰治ゆかりの地をめぐる



旧制弘前高等学校時代を過ごした城下町・弘前からスタート。下宿先の「太宰治まなびの家」には、多感な時代を生きた太宰のポートレートが展示されています。旅のラストは、子守タケと感動の再会の地。そのシーンを再現した2人の像に出会うことができます。

日次	旅程
1日	(東京駅) 東北新幹線 (新青森駅) JR線 (弘前駅) 徒歩 弘前公園 徒歩 弘前市立郷土文学館 タクシー 太宰治まなびの家 徒歩 (弘前駅)
2日	(弘前バスターミナル・路線バス) (五所川原駅) (津軽五所川原駅) 津軽鉄道 (金木駅) 太宰治ゆかりの地かなぎ文学散歩※1 【斜陽館、新座敷、雲祥寺、南臺寺】、 金木観光物産館(マデニウ) 徒歩 津軽三味線会館 徒歩 芦野公園【太宰治像・太宰治文学碑】、 喫茶店「駅舎」(芦野公園駅) 津軽鉄道 (津軽五所川原駅) 徒歩 立佞武多の館
3日	(五所川原駅) 路線バス (小泊小学校前) 小説「津軽」の像記念館 (小泊小学校前) 路線バス (五所川原駅) 路線バス (新青森駅) 東北新幹線 (東京駅)

※1…「太宰治ゆかりの地かなぎ文学散歩」については、P16を参照ください。

2

● 津軽半島ぐるり旅 [時期 / 4月25日〜9月]
小説「津軽」の舞台をめぐる



疾風怒濤のごとき熱狂的な接待を見たSさんの蟹田(現外ヶ浜町)を北上、太宰とN君が宿泊した竜飛岬の旧奥谷旅館。タケとの再会の地・小泊めぐり、生誕の地・金木を散策そして、東京の留守宅へ聞いたよりをしたためた深浦町の旧秋田谷旅館を訪ねます。

日次	旅程
1日	(東京駅) 東北新幹線 (新青森駅) JR線 (青森駅) JR線 (蟹田駅) 徒歩 観瀾山公園 タクシー 義経寺 タクシー 竜飛岬観光案内所「龍飛館」(旧奥谷旅館)、階段国道 ●蟹田タクシー TEL / 0174-22-2113 ●蟹田観光タクシー TEL / 0120-054915
2日	タクシー 小説「津軽」の像記念館 徒歩 (小泊小学校前) 路線バス (斜陽館前) 斜陽館 徒歩 旧津島家新座敷 徒歩 芦野公園【太宰治像・太宰治文学碑】、喫茶店「駅舎」 (芦野公園駅) 津軽鉄道 (津軽五所川原駅) 徒歩 乾橋、叔母きき宅蔵 徒歩 立佞武多の館 タクシー 津軽金山焼 タクシー (五所川原駅) JR線 (鯉ヶ沢駅) 又は(深浦駅) ●奥津軽観光タクシー(外ヶ浜町竜飛地区) TEL / 0174-35-3581
3日	太宰の宿ふかうら文学館(旧秋田屋旅館)、風待ち館(深浦駅) JR線 (五所川原駅) 路線バス (新青森駅) 東北新幹線 (東京駅)

おすすめ観光ルート

太宰治のルーツ、そして奥津軽の魅力を存分に満喫できるモデルコースをご紹介します。

3

● 津軽鉄道ストーブ列車と地吹雪体験 [時期 / 1月下旬〜2月中旬]
冬の奥津軽

奥津軽の冬を体験できるコース。昔ながらの温もりと人情が味わえる津軽鉄道の「ストーブ列車」や、「地吹雪」を体験。また、日本酒の酒蔵を見学します。

日次	旅程
1日	(東京駅) 東北新幹線 (新青森駅) 路線バス (五所川原駅) 徒歩 立佞武多の館
2日	(津軽五所川原駅) 津軽鉄道ストーブ列車 (金木駅) 徒歩 斜陽館 徒歩 津軽三味線会館三味線生演奏(1100〜1130) 「地吹雪体験」※2 [1月20日〜2月14日] 13:00〜14:30(金木駅集合) (金木駅) 徒歩 旧津島家新座敷 徒歩 (金木駅) 津軽鉄道ストーブ列車 (津軽五所川原駅)
3日	津軽金山焼 タクシー (五所川原駅) JR線 (板柳駅) 徒歩 竹浪酒店酒蔵見学 ※3 徒歩 (板柳駅) JR線 (川部駅) JR線 (新青森駅) 東北新幹線 (東京駅)

※2…「地吹雪体験」はP32を参照してください。
 ※3…竹浪酒店 酒蔵見学 TEL / 0172-73-2161

● **立佞武多の館**
 高さ22メートル、重さ18トンの巨大ななぶたが街を行く立佞武多祭りの魅力を、いつでも体感できるテーマミュージアム。祭りの夜をイメージした展示室に一歩足を踏み入れると、誰もがその高さに圧倒されます。
 ●五所川原市大町 21-1 ●TEL / 0173-38-3232
 ●開館時間(展示室) / 4〜9月 9:00〜19:00、10〜3月 9:00〜17:00、8月4〜8日・13日は17:00まで、12月31日は15:00まで
 ●休館日 / 1月1日
 ●入館料 / 展示室：大人 600円、高校生 450円、小中学生 250円
 美術展示ギャラリー：大人 300円、小中高校生 100円



● **小説「津軽」の像記念館**
 太宰とタケ再会のシーンを具現した「小説「津軽」の像」に隣接する記念館。館内には、越野タケと太宰治の年譜や写真、思い出の品をパネルなどで解説。小説「津軽」にまつわるものが多数展示されています。
 ●中泊町大字小泊字砂山 1080-1 ●TEL / 0173-64-3588
 ●開館時間 / 4〜10月：9:00〜16:30、11〜3月：9:00〜16:00
 ●休館日 / 10〜3月の毎週月・火曜、12月28日〜1月4日
 ●入館料 / 一般 200円、高・大学生 100円、小・中学生 50円



● **吉幾三コレクションミュージアム**
 ●五所川原市広田榊森 54-64 ●TEL / 0173-26-6686
 ●開館時間 / 10:00〜17:00
 ●休館日 / 8月13、14、12月29〜1月5日
 ●入館料 / 500円(中・高校生 300円、小学生以下無料)

● **津軽金山焼**
 良質の粘土を使い、釉薬を一切使わず、赤松を用いて1350度の高温でじっくりと焼き締める、素朴で深みのある風合いが魅力の「津軽金山焼」。陶芸体験ができるほか、レストランなども備えています。
 ●五所川原市大字金山字千代鶴 5-79 ●TEL / 0173-29-3350
 ●営業時間 / 9:00〜17:00 ●休業日 / 無休
 ●料金 / 陶芸体験[手びねり・粘土 500g] 大人 1,200円、子ども 900円



● **太宰の宿ふかうら文学館**
 太宰治がかつて宿泊し、小説「津軽」にも登場した「旧秋田谷旅館」を改装。2階には実際に宿泊した部屋を当時のままに再現。また、太宰が訪れた際に食べた料理を「小説「津軽」の鯛と鮑のふかうら御膳」として、同町の越後屋旅館で提供。
 ●深浦町大字深浦字浜町 134 ●TEL / 0173-84-1070
 ●開館時間(2F展示室) / 9:00〜16:00
 ●休館日 / 11〜3月の毎週月曜、12月29日〜1月3日
 ●入館料 / 一般 300円、高・大学生 200円、小・中学生 100円



● **観光ルートバス 五〜ぐるり号**
 五所川原駅前から斜陽館、芦野公園、立佞武多の館、津軽金山焼、吉幾三コレクションミュージアムなど五所川原市内の主な観光施設を回ります。
 ●平成 23 年度の運行期間 / 4月23日〜7月22日
 ●運賃 / 600円
 ●お問い合わせ / 五所川原市観光案内所 0173-38-1515

● **タクシードル小説「津軽」の名シーン**
 「修ちゃんあ・幼年の思ひ出編〜五所川原・金木〜」
 ◎2時間 7000円
 叔母きき家の分家先→中畑さん宅、おけいちゃんとの散歩道→津軽五所川原駅(津軽鉄道乗車)金木駅→斜陽館→雲祥寺→南臺寺→芦野公園駅、太宰治像・太宰治文学碑→五所川原
 ※他にも竜飛まで行くコースなどありますので、お問い合わせください。
 ●お申し込み・お問い合わせ / 五所川原交通(株)0173-34-3232

● **「風待ち湊案内」観光ガイド**
 地元ガイドが、文化・歴史のまち深浦をエスコートします。
 [3時間コース]
 ◎大人 2300円、小中学生 1610円
 深浦駅→深浦町歴史民族資料館・美術館→太宰の宿ふかうら文学館(旧秋田屋旅館)→風待ち館→円覚寺→深浦駅
 ●お申し込み・お問い合わせ / 深浦町観光協会 0173-74-3320